



みんなで考えよう



平和のこと

2023年度の活動がはじまりました!

3月21日から、2023年度の活動がスタートしました。昨年度は平和行進や学習会など、さまざまな企画の開催を行いました。よどがわ市民生協は、「よりよき暮らしと平和のために」(1977年創立宣言)事業と運動をすすめる消費者の協同の組織です。核兵器や戦争のない平和でくらしやすい社会や地域づくりのために、今年度も平和の大切さを伝え、平和について学ぶ活動をすすめます。みなさんも一緒に、「平和」とは何か、共に学び、考えていきましょう。



環境のこと

プラごみ調べ 2022年度参加者の声

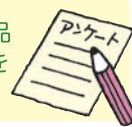
ついつい便利なのでラップなどすぐに使っていましたが、数を数えるようになって、本当にラップじゃないとダメかどうか考えるようになりました。皿に入れてラップでよく保存していましたが、タッパーに移し変えるようにして、ひと手間ではありますが、環境のために努力しなくてはならないなあ…と感じました。



自分ではレジ袋やスプーン・はしなどはすべてことわっていて、プラごみを工夫していると思っていたのですがいざ夕食づくりでかなりのプラごみが出ていた事もあらためて知り残念に思いました。

プラごみ調べて?

2022年10月実施。ペットボトルや食品トレーなど、1日に出たプラごみの数を調べて、用紙に記入します。



第2次ウクライナ緊急募金 贈呈式を行いました

1月13日(金)、7月1回～11月1回に実施した『第2次ウクライナ緊急募金』の贈呈式を、おおさかパルコープと共に行いました。よどがわ生協からの募金総額は**401万4100円**でした。ご協力いただき、ありがとうございました。



贈呈先の国連世界食糧計画WFP協会より、募金の使い方と現状について

- 2022年3月1日より開始した募金は「武器ではなく食糧の支援をしよう」と始め、これまでに日本から19億円(うち法人からは17億円超え)の支援を行なっています。一人ひとりの力が山となり大きな力になっていることに感謝しています。
- ウクライナ国内で避難している人たちへの支援を行っており、特にウクライナ東部地域に対しては、食料の現物支援として、米・パスタ・肉の缶詰など(1家族30

日分単位)、乳幼児の栄養支援として粉状の穀物の配布をしています。西部地域には、スーパーや食料品店などで必要なものを選ぶ『食料引換券』を配布して支援を行なっています。

- 今後の支援活動についても、同じ支援を続けます。新たな活動としては、地雷除去や農地の整備の計画も検討しています



現在『第3次ウクライナ緊急募金』を5月4回まで実施しています。
ぜひご協力をよろしくお願いいたします。※くわしくは、7面をご覧ください。